

八鹿青溪校区小中一貫教育だより

令和6年12月6日(金)

八鹿青溪校区校長会発行

第2号

6年生の中学校登校について

7月発行の第1号でお伝えしましたとおり、今年度も、6年生が年間3回の中学校登校を行います。これは小学校と中学校の接続を円滑にする取組を通して「中1ギャップ」の緩和を図るものです。「中1ギャップ」とは、教科担任制、定期テストなどの学習の変化や人間関係の再構築といった小学校から中学校への変化を表しており、この変化にうまく対応できず、不登校やいじめにつながる大きな課題となっています。小学生が中学校生活を体験することで、中学校の学習や部活動、教員や生徒のことを知り、中学校入学に向けての不安感の軽減につなげたいと考えています。

すでに7月と10月に2回の中学校登校を実施しました。その様子についてお知らせします。

☆第1回中学校登校 7月4日(木)

第1回目の中学校登校は、7月4日(木)に行いました。4小学校の6年生が2クラスに分かれ、中学校教員や小学校教員による授業を受けました。1校時は全体HRで、中学校紹介の映像を見たり、校舎内を見学したりしました。2校時から数学、社会、国語、音楽の授業を受けました。数学は「なぜなぞボックスの仕組みを考える」という学習で、日頃の算数の成果を発揮して計算を行いました。社会は「鎧の古代人の謎を解け」という内容で、国内で初めて発見された鎧を身につけた約1500年前の人骨から、その背景を考察しました。国語は熟語について学びました。四字熟語に親しんだり、漢字カードを組み合わせて熟語を作ったりしました。音楽は八鹿青溪中学校の校歌やリズムカルで楽しい曲を皆で元気よく歌いました。給食や清掃も中学校で行われている方法を体験しました。小学校に比べると早いペースで給食を食べ、その後は、中学生の無言清掃に習って、熱心に掃除に取り組む姿が見られました。朝はかなり緊張した表情を見せていた6年生も、帰りには「楽しかった」と笑顔を見せていました。



全体HRの様子



社会の様子



国語の様子



音楽の様子

☆第2回中学校登校 10月29日(火)

第2回目の中学校登校は、10月29日(火)に行いました。午前中の授業は国語、英語、算数、体育でした。国語は国語辞典を使って「コトバト」という学習をしました。お題に合った言葉を辞典の中から探すというものでした。英語は、小学校でも行っている「フォニックス(発音)」について詳しく学びました。算数は「ジャマイカ」というサイコロが7個ついた道具を使い、出た目を四則演算して目標の数字にするという内容でした。体育は2クラス合同で行い、リズムに合わせて体を動かしました。上半身と下半身の動きが違い、リズムも変化するので、混乱しながらも一生懸命挑戦する姿が見られました。午後からは中学2年生と一緒に八鹿青溪中学校の校歌を練習しました。入学式で在校生と一緒に校歌が歌えるようにと、グループに分かれて先輩からのアドバイスを聞きながら練習しました。最後は6年生だけで校歌を披露しました。先輩から指導を受け、頼もしさを感じる貴重な交流の時間となりました。



英語の様子



算数の様子



体育の様子



校歌の練習

中学校登校も2回目ということで、休み時間には他校の小学校児童と楽しそうに話す姿も見られました。次回は1月21日(火)に実施予定です。午前中は授業を受け、午後からは保護者も参加しての入学説明会を予定しています。

《 中学校登校の感想 》

【授業について】

- 答えは1つでも、色々な計算の仕方があって、算数はとても面白いと思った。
- 「考古学」と聞いて初めは意味が分からなかったけど、色々な話を聞いて社会が好きになった。
- 小学校ではバスとかソプラノとか気にしなかったけど、中学校では色々なパートがあると知って楽しくなった。
- 国語辞典をひくのは苦手だったけど、今日のは楽しかった。これからも分からない言葉があれば国語辞典を使っていきたい。
- 話を聞いたときは簡単だと思っていたけれど、上下違う動作はなかなかできなくて大変だった。

【校歌の練習について】

- 丁寧に教えてくれて約5分で1番が覚えられた。練習の時に「すごい、すごい！」と励ましたり褒めたりいっぱいしてくれて嬉しかった。

【中学校登校全体について】

- 中学生はみんな大きな声で相手を見て挨拶できていたから、僕も中学生になったらそんなふうになりたいと思った。
- 行くときはドキドキしていたけど、先輩方や各教科の先生がとても優しく、中学校の入学が楽しみになった。
- 掃除の仕方やあいさつのことなど、次は自分が小学校で低学年に伝えて、学んだことを生かしたい。
- 前より友だちと話したり、掃除がスムーズにできたりして、自分もなんだか中学生になれたような気分だった。早く入学したくなった。

小・中学校合同教職員研修について

八鹿青溪校区小中一貫教育では、児童生徒理解に生かすため、8月と11月にスクールカウンセラーを講師とした「カウンセリングマインド研修」を、また、夏季休業中には、小・中学校の教職員が講師となる「キャリアアップ研修会」を、合同教職員研修として実施しています。8月21日のキャリアアップ研修会では、

- ・ 体育講座～球技の段階的な指導。
- ・ 国語講座～書写の基本的な指導と作品作り。
- ・ 音楽講座～リコーダー中心の合奏指導。
- ・ 自治的諸活動座談会～児童会、生徒会の取り組ませ方。仲間づくり的な活動。
- ・ 性教育講座～「LGBTQ・SOGI」性の多様性基礎講座。
- ・ SSWさんとの座談会～不登校や要支援児童生徒についての情報交換。
- ・ 生徒指導講座～登校しぶり・不登校児童生徒への対応の仕方。
- ・ タブレット活用講座～効果的なタブレットの活用方法。まなびポケットの機能について。

の8講座・座談会が開設されました。小・中学校の教職員が合同で研修を行うことで、交流を深め、互いの専門的知識を生かして教育技術の向上を図ることができました。



カウンセリングマインド研修の様子

冬休み「そうあんくんお手伝い大作戦」について



今年の冬休みも「そうあんくんお手伝い大作戦」を実施いたします。小中共通の取組となっております。児童生徒が家族の一員として活躍し、ご家族とのふれあいの機会となりますよう、ご家族の皆様のご協力をお願いいたします。チャレンジカード「お家の方から一言」への記入もお願いいたします。